

IBD市民公開講座について



IBD市民公開講座まで3週間を切りました。

<講義1>では、IBDセンター副センター長の小林拓先生が「炎症性腸疾患とは」というテーマで潰瘍性大腸炎とクローン病についての病態（病型・病気・重症度）・臨床所見などについてをお話します。IBDと診断されたばかりの方は病気を理解し治療を続けていく意義など参考になると思います。IBD歴が長い方も改めてご自分の病気を見直す良い機会になると思います。

<講義2>では、森久保拓先生が「最新の診断」というテーマでお話します。最近では、大腸内視鏡検査だけではなくいろいろな検査を併用して診断に使われるようになってきました。苦痛が少ない検査もありますので、今後の検査の選択肢の参考になると思います。

<講義3>では、阿曾沼邦夫先生が「最新の治療」というテーマでお話します。潰瘍性大腸炎もクローン病も新しく使える薬が増えてきています。生物製剤の導入を勧められている方は選ぶ時の参考になるかと思えます。すでに使用されている方も、「現在の薬が効かなくなったらどうしよう？」という不安が減るかもしれません。

<講義4>では、栄養士さんより「炎症性腸疾患と食事」というテーマでお話します。潰瘍性大腸炎とクローン病に分けて専門家としてお話します。必要がない食事制限をしているかもしれないですし、もう少し頑張った方が良いかもしれない方もいるかもしれません。食生活を見直す良い機会になるかと思えます。

<質問コーナー>では、当日のアンケートで皆様から頂いた質問に時間が許す限りお答えしていきます。時間内にお答えできなかった質問は後日、ホームページで回答致します。個人的な質問については個別に医師にご相談ください。